

第4章 野岩鉄道

7日目：7月15日（火）：新藤原～会津高原尾瀬口 雨

2025年7月15日（火）雨、会津地方の旅の7日目は、野岩鉄道（電化）の新藤原駅から会津高原尾瀬口駅までの営業キロ30.7kmに挑戦する。野岩鉄道の踏破は、首都圏鉄道網（4,682.1km）の完全踏破を意味する。それ故、終日ワクワクドキドキしながらの歩きとなった。会津高原尾瀬口駅5時45分の始発で新藤原駅を目指す。昨夜宿で作って頂いたおにぎりを朝食として頂く。5時45分のダイヤに乗り遅れないように起床する必要（4時頃）があり、枕を高くして就寝できず。それ故、寝不足の状態でのコンディションであった。早朝のため、宿の玄関ドアが開かず、何度も電話するがでず。やっと5時20分頃、女将さんが自宅からやって来て玄関ドアを開けてくれる。ホッとする。なお、5時45分の次は7時9分であった。このダイヤでは、会津高原尾瀬口駅までの踏破は不可能であった。本日は、昨日と異なり重いリュックは背負わないが、大雨で営業キロは30kmを超過するので、身体的にも精神的にも大きな負荷を要した。しかも、男鹿高原駅から会津高原尾瀬口駅まで大きく迂回を余儀なくされ、今回の旅の中で、最も難関区間であった。九ヶ条からなる”こだわり鉄道つたい歩き”の第5条（先憂後楽の考え方）に反する行程であったので。本日は概ね大雨と小雨が交互に来たので、カッパを着用したりしなかったりして終日臨んだ一日となった。





※いざ出陣、会津高原尾瀬口駅



※新藤原駅への路





※新藤原駅

本日の各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。

新藤原(6:19)～龍王峡(7:01)～川治温泉(8:20)～川治湯元(9:03)～湯西川温泉(10:55)～中三依温泉(13:26)～上三依塩原温泉口(14:35)～男鹿高原(16:00)～会津高原尾瀬口(18時プラス α)

①国道121号線に合流する。道の駅に面した龍王峡駅には7時1分到着する。もう少しで通り過ぎるところであった。



※龍王峡駅への路



※龍王峡駅

②7時14分、道路下を潜る。7時20分、南会津まで53kmと記した標識前を通過。7時29分より、105歩ある橋を渡る。7時41分より、龍王トンネルを通過する、7時50分より、万歩計で148歩ある三岩トンネルを通過する。もう少しで通り過ぎそうになった川治温泉駅には8時20分に到着。高架した鉄道には会津高原尾瀬口に向けて発車する電車がかった。野岩鉄道は、幹線道路から殆ど見えない線路が続いていた。川治温泉街はこの駅から随分離れた先にあった。丁度、芦ノ牧温泉駅と芦ノ牧温泉のような位置関係であった。



※川路温泉駅への路



※川治温泉駅

③8時22分、野岩鉄道下を潜る。川治温泉街を歩く。川治湯元駅は国道121号線を少しショットカットする道筋があり、案内板に従って歩く。暫く歩くと、国道121号線に合流する。その先で、川治湯元駅への案内板があったので左折する。500m位歩いた先に川治湯元駅(9時3分)があった、ひげジューの印象的なキャラクター人形があった。





※川治湯元駅への路



※川治湯元駅

④先程歩いて来た道筋を歩き、国道 121 号に戻る。9 時 12 分、田島 47 km と記した標識前を通過。9 時 36 分より、233 歩あるトンネルを通過する。9 時 41 分より洞門、9 時 46 分より別の洞門を通過する。その先で会津若松 87 km、南会津 44 km を記した標識前を通過。10 時 1 分より、131 歩ある五十里橋（はぐり）橋を渡る。435m ある五十里

トンネルを通過する。10時17分より御判橋を渡る。10時21分より、97歩ある海尻トンネルを通過する。10時40分より、1,068歩ある湯の郷トンネルを通過する。湯西川温泉駅には10時55分到着する。この駅には職員の方がおり、私の帽子を見てお声がかかる。カッシーチラシを手渡し、「本日は野岩鉄道を歩きにきました。野岩鉄道により首都圏鉄道網が完成します」とPRさせて頂く。



※湯西川温泉駅への路





※湯西川温泉駅

⑤11時より、あかゆう大橋を渡る。左手に野岩鉄道の鉄橋があった。11時7分より、592歩ある十里岬トンネルを通過する。トンネルを出ると男鹿川が流れていた。大雨の影響で泥水が勢いよく流れていた。11時41分、雨が瞬間的に上がる。11時48分、南会津まで37kmと記した標識前を通過。11時58分、12時7分より洞門を通過。それにしても、野岩鉄道は、名前の通り、トンネル、洞門、橋が随所に登場し、鉄道は殆ど幹線道路から見えない路線であると痛感。12時38分、鉄道下を潜り、鉄道の左側となる。13時12分、南会津まで32kmと記した標識前を通過。13時26分、やっと中三依温泉駅（なかみより）には13時26分に到着する、営業キロ6.5kmに2時間31分も要す。それにしても湯西川温泉駅からは遠かった。





※中三依温泉駅への路



※中三依温泉駅

⑥13時50分、観音沢を通過。14時3分、鉄道下を潜り、鉄道の右側となる。上三依塩原温泉口駅（かみみより）には14時35分と順調に到着できる。

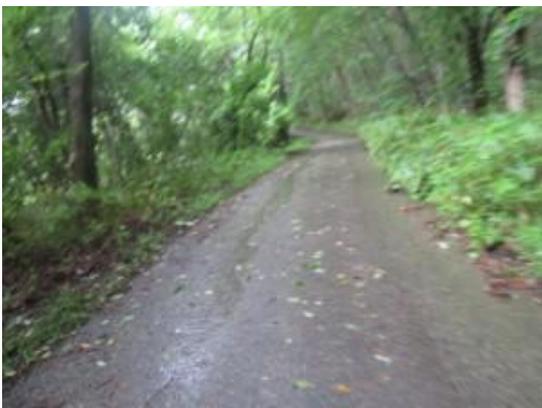


※上三依塩原温泉口駅経に路



※上三依塩原温泉口駅経

⑦14時46分、南会津26km、会津若松69kmと記した道路標識前を通過。15時35分、男鹿不動滝前を通過。ここでも泥水が勢いよく流れていた。暫く歩いた先で左折する道路があり。熊でも出現しそうな道筋であった。1km位、森の中を歩いた先に男鹿高原駅(16時)があった。女性の方が、メモ帳に記録していた。挨拶しこの場を立ち去る。



※男鹿高原駅への路





※男鹿高原駅

⑧先程歩いた脇道を歩き、国道 121 号線には 16 時 11 分到着する。16 時 30 分、洞門を通過する。16 時 42 分、南会津まで 21 km と記した標識前を通過。この境界は依然日光市であった。17 時 2 分、900 歩ある山王トンネルで栃木県日光市から福島県南会津町となる。17 時 27 分より、山王大橋を渡る、17 時 45 分、只今の温度は 22℃とあった。道の駅たじま（この境界の山越え先に会津高原尾瀬口駅あり）を通過し、500m 位歩いた先（中華料理店前）で、ホテルのご主人が迎えに来てくれる。18 時頃であった。ここから会津高原尾瀬口駅までは少なくとも 1 時間半は要するだろう。もし出迎えがなければ、ホテル到着は 20 時を過ぎる可能性があった。温もりを感じる瞬間であった。感謝感激で一杯となった。ここでも天や神のご加護を強く感じた。



※山王トンネルへの路



※山王トンネル



※道の駅たじま

⑨お陰様でホテルには18時20分到着。万歩計は78,699歩だった。温泉で汗を流した後、19時半より夕食となる。瓶ビールが最高に美味しかった。女将さんが夕食に付き合ってもらって頂き、本日を含め、これまでのウォーキングに関し、昨日に引き続き話す機会を得る。至福のひと時であった、なお、壁には昨日手渡したカッシーチラシが掲示されており、最高の気分となる。記念に団扇に記した「祝 首都圏鉄道網完全踏破（2025年7月15日／野岩鉄道／会津高原尾瀬口駅）」を貰って頂く。「明日は7時半、朝食をお願いします」と言ってこの場を去る。楽しい夕食会であった。



※ホテルで祝杯